



恐竜のまちづくり最前線

パート 8



今後は恐竜化石を活かしたまちづくりを皆さんと一緒に考える取り組みが始まります。

むかわの恐竜 海外からも注目!

7月15日(金)、ドイツの恐竜公園で科学顧問を務めるアーミン・シミット博士が穂別博物館を訪問されました。シミット博士はこの夏千葉県で開催された「メガ恐竜展」でギャラリートークの講師をされました。これにあわせて道内・国内の博物館を訪問され、むかわ町から産出した恐竜化石にもたいへん注目されているそうです。化石がきっかけになる国際交流がもっともって増えていくかもしれませんね。



アーミン・シミット博士。ドイツの恐竜エウロパサウルスのマスケットと、むかわ恐竜化石のジャケットと一緒に

穂別キャンプ場の恐竜化石PRコーナー。ハドロサウルスの足跡と



穂別キャンプ場に恐竜出現?

7月23日(金)、穂別キャンプ場のセンターハウスに恐竜化石PRコーナーを設置しました。今回は新たにむかわ恐竜と同じハドロサウルス科恐竜の足跡を再現したシートを床面に設置しました! キャンプ場周辺で採集された化石も展示されていて、見応えのあるコーナーになっています。キャンプ場の営業期間中は掲示を続ける予定ですので、ぜひお越しください。

アンモナイトのストラップをつくろう

8月9日(日)、四季の館で行われた「夏の館まつり」に、地域おこし協力隊が化石コーナーを出展しました。ホベツアラキリュウ頭骨レプリカやアンモナイト実物化石の展示、アンモナイトのレプリカを使用したストラップ作りなどを行いました。夏休みということもあって、東京から帰省中の方にも楽しんでいただけました。これからも化石の魅力に親んでもらえるような出展活動を続けていきたいと思っています。



化石コーナーの風景。奥のテーブルではアンモナイトのストラップを作製中

担当：太田晶(地域おこし協力隊)

人々の動き

平成27年7月31日現在

- ▶ 人口 8,871人(4)
- ▶ 男性 4,365人(4)
- ▶ 女性 4,506人(0)
- ▶ 鶴川地区 6,028人(11)
- ▶ 穂別地区 2,843人(-7)
- ▶ 世帯 4,444世帯(3)

※()は前月比。住基法の改正により、外国人数を含みます。

平成27年7月1日～31日

出生	2人	死亡	9人
転入	39人	転出	28人

交通死亡事故ゼロ日数

平成27年7月31日現在



全国的に秋口における日没時間の急激な早まりとともに、例年、夕暮れ時や夜間には重大事故につながるおそれのある交通事故が多発しています。いつも以上に安全運転を!

